

2017/12/11

研修2日目の朝、朝食会場で生徒さんを出迎えました。約束の時間よりも大分早く到着していた生徒さんが6名おりました。疲労が取れていないでしょうに、時間をしっかりと守って行動することができています。作りたての卵料理が頂けるなど、とても美味しい朝食でした。その後一同はホテルを後にし、いよいよ語学学校に向けて出発しました。ELCスタッフのキャサリンが皆を出迎えてくれました。彼女は昨年度の研修の際にもいたスタッフです。非常に元気がよい女性で、ELCのムードメーカーです。少し緊張気味だった生徒さんも、彼女のエネルギッシュな表情から笑顔になりました。キャサリンの挨拶の後は、プレイズメントテストです。「This is a pen.」というレベルから長文まで、最初は簡単と思って取り組んでいたようですが、感想を訪ねてみると「時間が足りなくて全部解けなかった」とうなだれる生徒さんもいました。このプレイズメントテストは、記述問題と口頭試問（インタビュー）があります。「あなたの家族を紹介してください」「ボストンで一番楽しみにしている訪問地はどこですか」といった、比較的易しい会話だったようです。あまり緊張せずに取り組めた生徒さんが多かったように思います。

テストの後は短い時間でランチを済ませ、午後の予定に移りました。本日はフリーダムトレイルに参加しました。皆でボストンコモン（語学学校から徒歩3分、アメリカで最古の公園です）に集まりました。当時の衣装を身にまとったガイドさんの後に付き、アメリカ建国の基礎を築いた街の歴史を学びます。お昼を食べた後、極寒の青空の下、聞き取れないほどの速い英語（ガイドの方は先生ではないので、ネイティブスピードで説明をします）。気づけば一人、また一人と立ったまま意識が朦朧としてきました。時差ボケとこれまで溜まった疲労が体にのしかかります。しかしそんな中でも、説明を聞き取ろうと積極的に前へ出ていく生徒さんもいました。その生徒さんは、「なんとか単語と単語をつなげて、言いたいことの意味を推測しました」とはにかみながら教えてくれました。約60分のフリーダムトレイルを終え、再びELCに向かいます。今夜からお世話になるホストファミリーのお宅に送迎するバンを待ちました。しかしいくら待っても、出発することが出来ません。実は本日の午前中に、急遽ホストファミリーの変更が出ました。もともと予定をしていたファミリーではなくなったので、配車リストが間違っていたようです。眠気に耐えながら送迎車を待っていた生徒さんですが、予定通りに進まないこともあるのもアメリカです。リストを作り直し、いくつかのバンに分かれて各々のホストファミリーを目指して出発しました。明日はファミリー宅からこの語学学校まで自力で登校します。同じファミリーにステイしている仲間と協力して時間通りに皆が集まれるでしょうか。実は、フリーダムトレイルに出かける前、「時間通りに行動する」という意識が若干薄れてきたように感じました。集合時間になっても、集合場所にいない、同じ班のメンバーがいなくても誰も探しにいかない（そもそも誰がいなかったのかを知らずともしていない）。このままでは明日以降にボ

ストンの市内散策に危険が生じるかもしれません。渡航前のオリエンテーションでも何度もお伝えしてきたことです。また今までの所はしっかりと守れてきた約束事だけに非常に残念でした。明日の報告書では、登校時間をしっかりと守れることができたのかどうか、お伝えさせていただきます。以上が本日のご報告です。

朝食の様子



キャサリンの説明を聞きます



ワッフルも作れます



ボストンコモンから始まるフリーダムトレイル



ELCに着きました。

